

遮音板取替工の作業手順

制定・改定日 2022.2.18

項目	内容	留意事項
準備工	<ul style="list-style-type: none"> 作業内容の確認。 作業人員の確認。 保護具の点検。 使用機械、資材、工具の点検。 作業機械操作方法の確認。 	<ul style="list-style-type: none"> 作業数量・作業方法。 安全打合せ書による打合せの実施。 作業別安全チェックシートの活用。 ナイロンスリングの点検 (使用期限・ほつれ具合・耐荷重の確認を実施する)
既設金属板・水切り板撤去	<ul style="list-style-type: none"> 橋梁点検車を使用し、橋梁側面と点検車作業デッキの間にウレタンを使用し隙間をなくし錆・金属片の落下・飛散のないよう作業します。撤去は、一日で復旧できる範囲とします。 作業デッキ内は落下防止ネット設置し目張りをします。 一般道に監視員を配置し現場と無線連絡をとり車輛通行時は作業をしないようにします。 	<ul style="list-style-type: none"> 必ず有資格者が操作を行う。 高所で作業する際は親綱・安全帯等を使用する。 金属板等溶接個所がある場合は、取外しにユニック等でテンションを掛けずに作業を行う事。
金属板設置	<ul style="list-style-type: none"> 移動式トラッククレーンを使用します。 設置時も橋梁点検車を使用し、作業デッキ内の2名で板の落下防止ワイヤーを板に通し板固定用バネを取り付けます。 	<ul style="list-style-type: none"> 遮音板をユニックで吊る際は回転防止のひもを付ける。 有資者による操作を行う 設置時は遮音板で手を挟まないよう、気を付ける。
水切り板設置	<ul style="list-style-type: none"> 金属板設置後、橋梁壁高欄天場に水切り板を設置します。 板は、M10×70のアンカーで固定します。 削工時は、保護具(メガネ・マスク)を着用します。 	<ul style="list-style-type: none"> 穿孔深さに注意し、掘りすぎないよう慎重に行う。 設置前に、設置個所の清掃を行う。
発生材積み込み・運搬	<ul style="list-style-type: none"> 現場からの搬出時は、飛散・落下しないようロープ、バンド等でしっかり固定する。 	<ul style="list-style-type: none"> バンドやバンセンを使い、しっかり固定する。 事前に運搬箇所を確認する。
後片付け	<ul style="list-style-type: none"> 使用した道具、機材、余った材料等は、トラックに積み込み、最後に竹ぼうきなどで清掃する。 清掃終了後は、責任者が必ず現場を確認し撤収する。 	<ul style="list-style-type: none"> 使用した道具等は、現場に忘れ物が無いように確認する。 現場は綺麗な状態で、離脱する。

作業編成(標準)		機材		資材		安全器具・保護具	
						ヘルメット	
						反射(自発光)チョッキ	
						警笛	
						保護メガネ	
						防塵マスク	

※現場で作業手順を変更する場合は作業を中止し、作業責任者からメンテ名古屋担当者に報告・相談する。

■注意事項(共通の指導事項)

- 1.機械作業は、有資格者が必ず行う。(免許・資格証は必ず携帯する)
- 2.車輛の誘導を確実にを行う。
- 3.作業に合った保護具を使用する。(めがね・安全帯等)
- 4.機械の操作方法、安全装置の打合せを充分行うこと。
- 5.手持ち式振動工具については取扱を十分理解し、使用する。
- 6.一人作業の禁止